

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公開番号】特開2012-237131(P2012-237131A)

【公開日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2011-106572(P2011-106572)

【国際特許分類】

E 02 F 9/22 (2006.01)

E 02 F 9/26 (2006.01)

F 02 D 29/04 (2006.01)

F 02 D 29/00 (2006.01)

【F I】

E 02 F 9/22 R

E 02 F 9/26 A

F 02 D 29/04 G

F 02 D 29/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月14日(2013.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

【図1】制御システムの全体構成を示す図である。

【図2】油圧ショベルの外観を示す図である。

【図3】キャビン内部を拡大して示す部分拡大斜視図である。

【図4】メニュー画面の一例である。

【図5】各画面をツリー構造で示す概念図である。

【図6】部位選択画面の一例である。

【図7】フロント状態選択画面の一例である。

【図8】カウンタウェイト状態選択画面の一例である。

【図9】作動油状態選択画面の一例である。

【図10】配管状態選択画面の一例である。

【図11】エンジン回転数・ポンプトルク変更設定テーブルの一例を示す図である。

【図12】標準モデルのエンジン回転数とポンプトルクの関係の一例を示す図である。

【図13】変更設定後の、エンジン回転数とポンプトルクの関係の一例を示す図である。

【図14】部位状態追加時のフロント状態選択画面である。

【図15】部位状態追加時のエンジン回転数・ポンプトルク変更設定画面である。

【図16】部位追加時の部位選択画面である。

【図17】部位追加時のアタッチメント状態選択画面である。

【図18】部位追加時のエンジン回転数・ポンプトルク変更設定画面である。

【図19】部位削除時の部位選択画面である。

【図20】変更設定修正時のアタッチメント状態選択画面である。

【図21】変更設定修正時のエンジン回転数・ポンプトルク変更設定画面である。

【図22】エンジン回転数とポンプトルクの増減の上限・下限を示す図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

車体制御コントローラ11は、油圧駆動系など車体全般を制御する。例えば、油圧ポンプ2のレギュレータ5を制御することにより、油圧ポンプ2の吐出圧と吐出流量を制御する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0114

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0114】

1 ディーゼルエンジン

2 油圧ポンプ

3弁装置

4 アクチュエータ

5 レギュレータ

6 モニタ装置

6 a 表示画面

6 b 操作スイッチ

7 配管

8 作動油

11 車体制御コントローラ

11 a エンジン回転数・ポンプトルク変更設定機能部

12 エンジンコントローラ

13 モニタコントローラ

13 a 部位選択画面・部位状態選択画面表示機能部

14 情報処理コントローラ

14 a エンジン回転数・ポンプトルク変更設定テーブル

15 通信ライン

100 下部走行体

101 上部旋回体

102 作業フロント

103 a , 103 b クローラ式走行装置

104 a , 104 b 走行モータ

105 旋回モータ

106 エンジンルーム

107 キャビン

111 ブーム

112 アーム

113 バケット

114 ブームシリンド

115 アームシリンド

116 バケットシリンド